

会 議 録

会議の名称	平成22年度第1回行田市地域公共交通会議
開催日時	平成22年8月9日(月) 開会；午後1時・閉会；午後2時50分
開催場所	市役所305会議室
出席者(委員)氏名	羽鳥副市長、伊藤克俊委員(代理出席：清水氏)、鈴木貴大委員、長島豊委員、新井友一委員、新井忠晴委員、鶴岡洋委員、高原昭委員、平野克行委員、内田愛三郎委員、久保田和一委員、池田豊委員、橘井公治委員、小池武男委員、小高巖委員、金子浩之委員、鎌田裕建設部長、田尻要委員、高橋秀雄総合政策部長、小川栄一市民生活部長、宮崎薫環境経済部長、岡田真彦健康福祉部長
欠席者(委員)氏名	
事務局	生活課：夏目課長、菅原主幹、吉田主査
会議内容	司会 夏目生活課長 ・委嘱状の交付 議事 (1) 会長及び会長職務代理者の選任について (2) 行田市内民間路線バス及び市内循環バスの運行状況等について (3) 今後の検討事項及びスケジュールについて (4) その他

<p>会 議 資 料</p>	<p>(資料名・概要等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行田市地域公共交通会議委員名簿 ○平成22年度第1回行田市地域公共交通会議 座席表 ○行田市地域公共交通会議設置要綱 ○行田市地域公共交通会議 会議傍聴要領 ○行田市付属機関等の会議録の写し会議資料の公表の方法に関する要領 ○行田市内民間路線バス及び市内循環バスの運行状況 ○行田市市内循環バスの概要 ○行田市民意識調査 報告書 ○市内循環バス利用目的アンケート集計表 ○市内循環バスに対する自治会要望一覧表 ○行田市市内循環バス新運行路線等にかかる原案 ○今後の検討事項及びスケジュールについて ○都市計画道路(南大通り線)全線開通に伴う新たな路線の運行について ○平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について
<p>その 他 必 要 事 項</p>	<p>傍聴者1名</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状の交付 市長より代表 1 名に委嘱状を交付</p> <p>3 市長あいさつ <市長退席></p>
司 会 事務局	<p>4 委員紹介</p> <p>5 交通会議の設置について <資料 2 - 1 「行田市地域公共交通会議設置要綱」、 資料 2 - 2 「行田市地域公共交通会議 会議傍聴要領」、 資料 2 - 3 「行田市附属機関等の会議録の写し及び会議資料 の公表の方法に関する要領」に基づき説明></p> <p>・傍聴希望者が 1 名あり。傍聴を許可してよろしいか。</p> <p>6 議事</p> <p>・議事に入らせていただく。</p> <p>・議事（1）「会長及び会長職務代理者の選任について」</p> <p>・会長は会議設置要綱第 5 条で主宰者である行田市長又はその指名するものになると定めている。よって、本市の副市長である羽鳥副市長が本会議の会長になることで異議ないか。</p>
委 員 司 会 会 長	<p>・異議なし。</p> <p>・それでは、羽鳥副市長、会議の進行をお願いします。</p> <p>・指名いただいたので、会議を進めさせていただきます。</p> <p>・はじめに設置要綱第 5 条第 3 項に、職務代理者をあらかじめ指名しておくこととされているため、指名させていただきます。同じ市役所の中から、本会議を所管している小川市民生活部長を指名する。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>議 長</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（２）「行田市内民間路線バス及び市内循環バスの運行状況等について」、事務局から説明をお願いします。 ＜資料３－１「行田市内民間路線バス及び市内循環バスの運行状況」 資料３－２「行田市市内循環バスの概要」 資料３－３「行田市民意識調査 報告書」 資料３－４「市内循環バス利用目的アンケート週計表」 資料３－５「市内循環バスに対する自治会要望一覧表」 資料３－６「行田市市内循環バス新運行路線等にかかる原案」に基づき説明＞
<p>議 長</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より説明があったが、質問や意見等があればお願いします。 ・ 資料３－２市内循環バスの概要で運行経費が出ているが、簡単に計算しても収支率が１０％程度となっている。市として収支率が１０％でよいのか、財政状況等からどの程度の収支率があればよいのかについてどのように考えているか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市は一人当たり約７００円の経費に対し、運賃収入が１００円であるため、約７倍の経費がかかっているが、利用者の増加は目的の一つとしてやっていかなくてはと考えている。
<p>委 員</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に収支についても考えていただきたい。 ・ 一人当たりの運行経費が６９７円となっているが、路線別には出していないのか。
<p>事務局</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回提示させていただきたい。 ・ 利用者が１８年度から増えているという説明があったが、１日平均を見ると増えていない。６０分サイクルで運行を計画しているという説明があった。しかし、１時間待って１００円で乗っても乗る価値がないと言う声を聞く。例えば停留所の位置の見直し等、検討しなおす必要があるのではないか。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東、北西循環は1日平均利用者数を便数で割り返すと、3人程度になってしまうが、路線バスが走っていない地域を循環バスは埋めている。もう一つの問題としては車社会ということが挙げられる。現在、数字としては少ないが、年間で約8万人の需要がある。利便性の向上は大切であるが、今後、長期的な視野で検討していかなくてはいけないと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に10便で割るだけでなく、時間帯の関係もあるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10便目が西循環を除いて利用が少ない。また、西循環以外はJR行田駅を通っていないということもある。時間の問題も長期的に検討していかなくてはと考えている。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（3）「今後の検討事項及びスケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>＜資料4-1「今後の検討事項及びスケジュールについて」 資料4-2「①都市計画道路（南大通り線）全線開通に伴う新たな路線の運行について」 資料4-3「②平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について」に基づき説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より提案があったが、意見等があればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻や停留所はどうなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・①については路線の承認後、具体的に検討していきたい。②について3路線は現状維持だが、利用者数等により便数の減も検討する必要がある。路線の承認後に細かく設定していきたい。今の運行形態を生かした上で、多少アレンジを加える予定である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にになった段階で提示していただきたい。また、路線バス

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>と公共バスでどのような繋がりがあるのかを考えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議では運送の態様について協議いただくが、今の時点では情報として提示できるものが少ない。次回会議時に示せる範囲で資料を揃えたい。会議では大枠での路線の同意をいただきたい。時間帯や停留所の設置位置、その他事項については、業者の選定委員会を開き、その中で協議させていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・西循環は2分割するとのことだが、西循環と西循環以外で具体的な経費等も示していただき、検討する必要があるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他市の状況も入れ、運行経費等の資料を提示させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・①については、路線の性格とすると通勤通学でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕は通勤通学である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の足である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民の基本生活と通勤通学ということでよいか。次に②についてだが、黒の点線は観光に軸足を置いた路線でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・黒の実線の軸足はどこにおいてあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・西循環の実線については、比較的人口の多い地区を走るなので、通勤通学用がメインと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・点線と実線では性格がかなり異なるということによいか。また、需要の時間帯、曜日ともま逆になる路線ということによいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線ができJR行田駅に直結となるが、今は、行田から吹上駅へバスが出ている。都内への通勤者のほとんどが利用し

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>ていると思うが、駅が行田駅になると、都内より一駅遠くなり料金も高くなるのに通勤客で利用する人がいるのか。そういうことの検討はしているのか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在細かいアンケート等はとっていないが、今後、アンケート調査等を行っていきたいと考えている。 ・ J R 行田駅と国道 1 2 5 号線を結ぶ幹線道路が開通するので、市としては、J R 行田駅を市の表玄関として利用していただけるように運行路線を検討していきたいと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の意向も検討すべきではないか。また、路線自体は一緒の路線ではないが、朝日バスとの競合具合も検討すべきではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南大通り線を市内循環バスと同じ 1 0 0 円均一という料金体系で走らせるとなると、J R 行田駅と吹上駅で上野行きの電車賃が変わらないため、既存の朝日バスの佐間路線と南大通りが交差するあたりの住民の朝日バス利用者が減り朝日バスの路線が衰退していく。それが、行田市民のためになるのかが懸念される。一方、J R 行田駅に近いほうの住民は開通するのを待っている路線であろうから、そのへんも合わせて検討する必要があるのではないか。市が行うから市内全部 1 0 0 円均一というのでは、既存の民間路線を圧迫して、トータルとして行田市民のためにならないのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金、ダイヤ等を含めて検討していかなくてはならないと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの運行、定時定路線の見直しについて、デマンドや乗り合いタクシー等といった運行形態の見直しまで含めた検討は可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド交通については、今後、公共交通会議の中で検討していかなくてはならないと考えている。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいか。 ・ 議事（４）「その他」について、事務局から何かあるか。 ・ 資料４－１③については、先ほどの件も含めて検討していただきたい。 <p style="margin-left: 2em;">＜次回会議の開催日程について＞</p> <p style="margin-left: 2em;">＜連絡事項＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は資料４－１「①都市計画道路（南大通り線）全線開通に伴う新たな路線の運行について」、「②平成２３年度以降の市内循環バスの運行計画について」について、検討いただく。その後、「③行田市の市内循環バスの方向性及び行田市の特性に合った地域公共交通について」について、検討いただく。バスの停留所、時間等は次回以降の問題として、次回は提案する路線について検討いただきたい。
議 長 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上で、司会を事務局にお願いしたい。 ・ 現在、朝日バスは吹上駅へ乗り入れが２路線、熊谷駅への乗り入れが１路線あるが、循環バスと競合しないがクロスはする。市のＪＲ行田駅へ乗り入れたいという話は分かるが、１００円という運賃設定は現在の路線への影響が大きい。コミュニティバスは一般路線の利用時間外、地域外等、一般のバスが通らない空白地域をフォローするものと考えている。１００円の運賃であり、利用された場合の一般バスへの影響を示していただきたい。結果的には、既存のバス事業者への影響が大きい。自主運行しているバス事業者への影響があるかを考えていただきたい。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、話のあったことについては、次回までに用意できるものについては、用意していただきたい。
司 会	<p>7 閉会</p>